Kyushu FG

News Release

2026年6月29日

株式会社 九州ﾌｨﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ
株式会社 肥　後　銀　行
株式会社 鹿　児　島　銀　行
九 州 Ｆ Ｇ 証 券　株式会社

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づく 2026年3月期の主な取り組みおよびＫＰＩの結果について

当社グループは、お客さま本位の業務運営を徹底し、お客さまの安定的な資産形成や、お客さまの最善の利益につながる取り組みを更に発展させていくため、グループ共通の基本方針として「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」（以下、本方針）を策定しております。

本方針に基づく、グループ各社（肥後銀行・鹿児島銀行・九州ＦＧ証券）の2026年3月期の主な取り組みおよびＫＰＩ（Key Performance Indicator：重要業績評価指標）の結果につきましてお知らせいたします。なお、九州ＦＧ証券のＫＰＩには、肥後銀行および鹿児島銀行で受け付けた金融商品仲介取引を含んでおります。

今後も、本方針のグループ内浸透に向けた施策を充実させるとともに、お客さまの最善の利益実現に向け、最適かつ最良な金融商品・サービスの提供に取り組んでまいります。

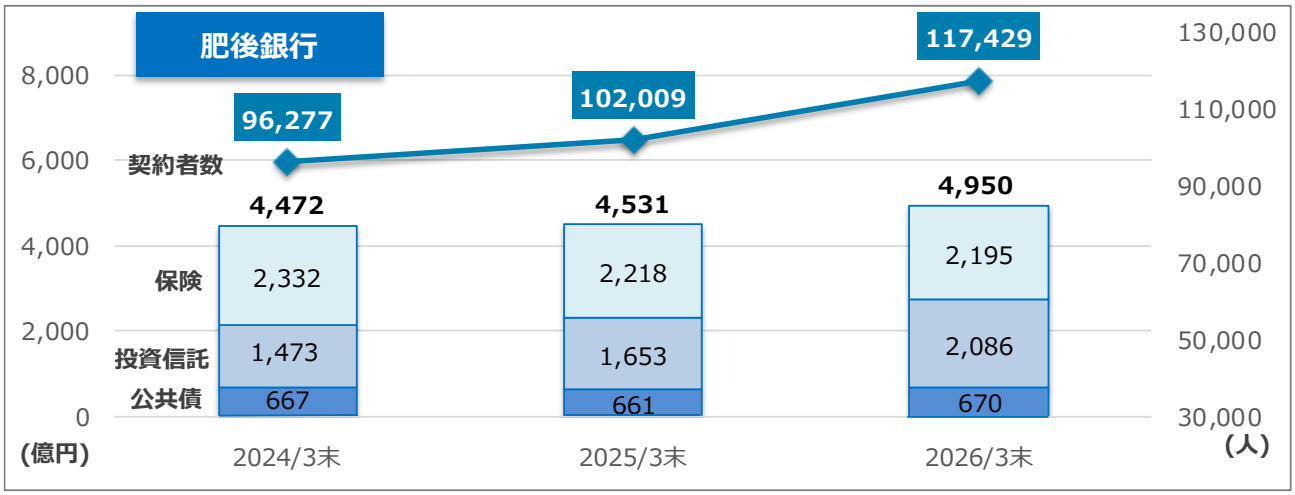
以　上

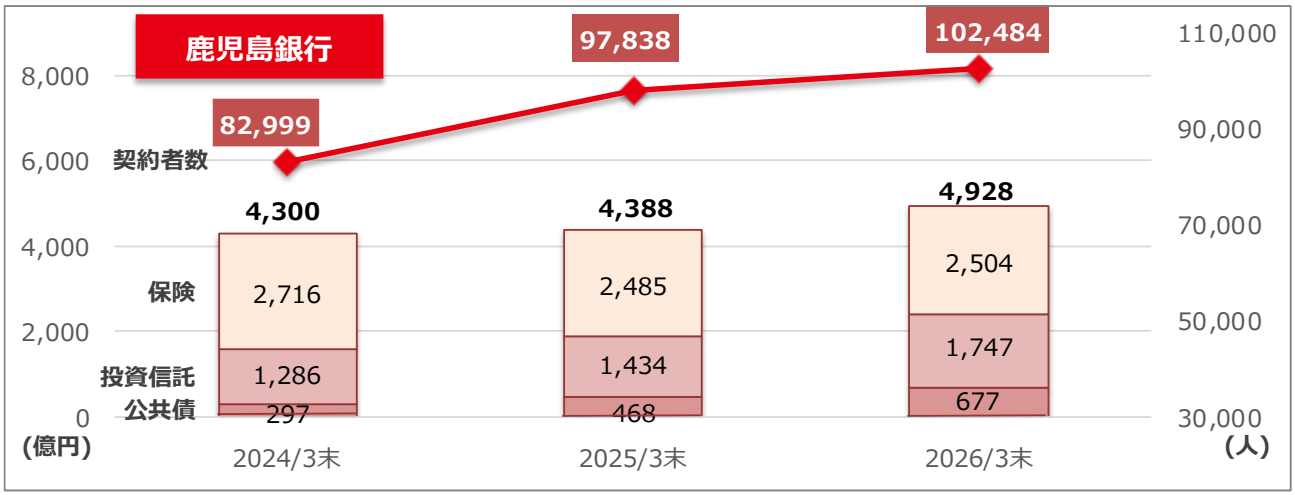
【本件に関するお問合せ先】
九州フィナンシャルグループ　事業戦略部
TEL 096-326-5595

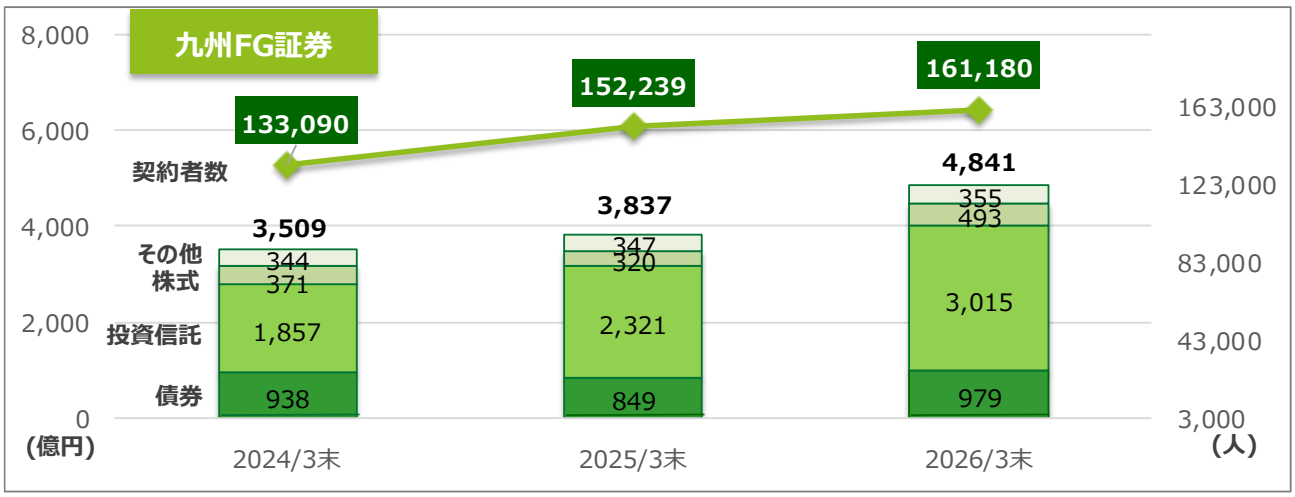
「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づく
2026 年 3 月期の主な取り組みおよびＫＰＩの結果について

■預り資産残高・契約者数推移

当社グループでは、お客さま本位の業務運営を徹底することで、お客さまのニーズにお応えする取り組みを進めております。その結果、全社で預り資産残高・契約者数共に増加しました。

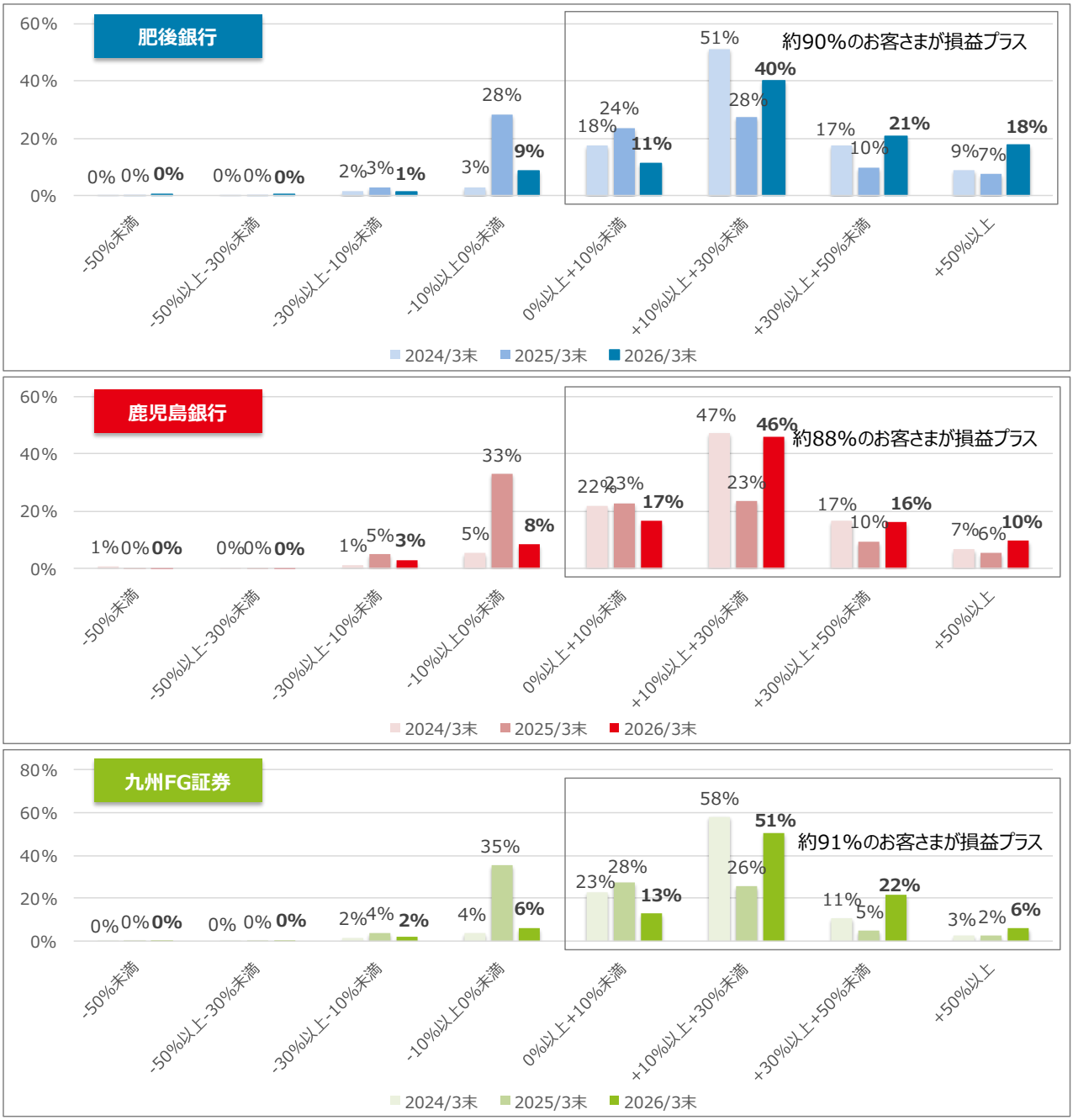






■運用損益別顧客比率（投資信託） 【共通ＫＰＩ】

お客さまの運用損益については、米国の株価上昇を主要因として、全社的に増加いたしました。



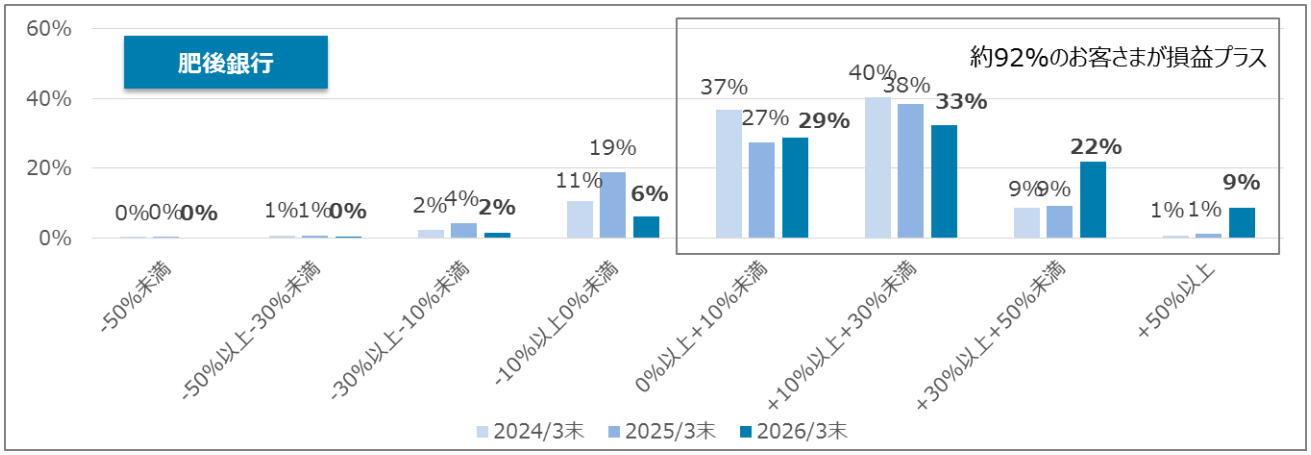
〈定義〉2026 年 3 月末時点に投資信託を保有している個人のお客さま

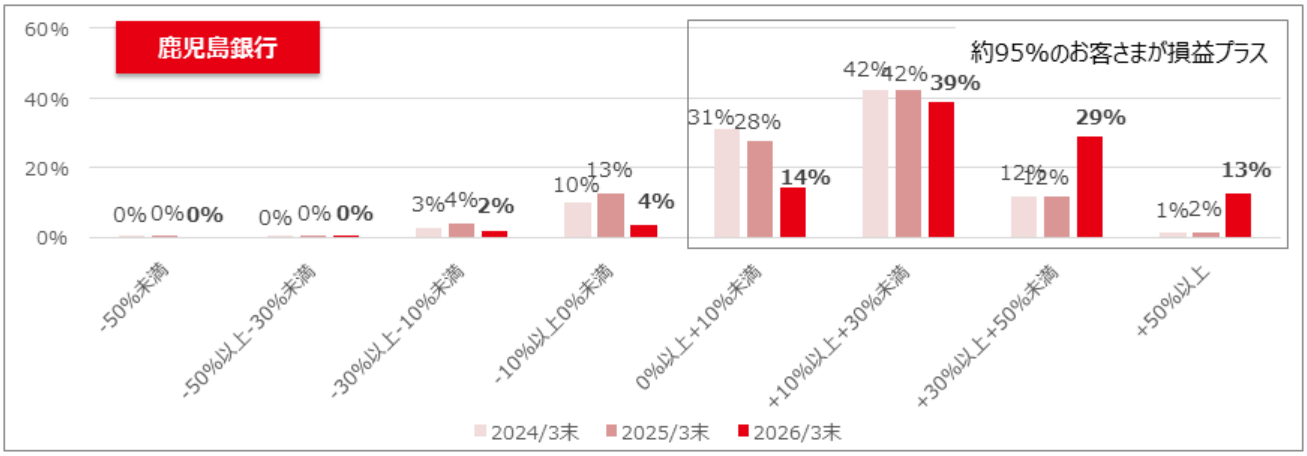
分子：基準日時点の評価金額＋累計受取分配金額（税引後）＋累計売付金額
－累計買付金額（含む消費税込の販売手数料）

分母：基準日時点の評価金額

■運用損益別顧客比率（外貨建保険）【共通ＫＰＩ】

お客さまの運用損益については、為替相場は前年度比横ばいであり、両行とも９割を超えるお客さまの損益がプラスとなっております。





〈定義〉2026 年 3 月末時点に外貨建保険を保有している個人のお客さま

分子：（基準日時点の解約返戻金額＋基準日時点の既支払金額）

－契約時点の一時払保険料（いずれも円換算）

分母：契約時点の一時払保険料（円換算）

当社グループの「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づく、主な取り組みおよびＫＰＩの結果は次ページ以降に記載しております。

(肥後銀行)

お客さま本位の最善の利益実現に向けた当社グループの基本姿勢【基本方針第２条】

【主な取組内容】

肥後銀行(以下、当行)では、お客さまの最善の利益を目指して、特定の商品や商品提供会社に偏らない金融商品・サービスの提供や、積立型投資信託を中心とした長期分散投資の推奨に努めております。

■長期分散投資の推奨および NISA 制度の活用促進

2025 年度は、NISA を中心とした長期分散投資の推奨に向けキャンペーンを年 2 回実施するなど、お客さまの将来の資産形成のきっかけとなるよう努めました結果、積立投資信託の契約先数は 52,699 先、NISA 口座利用先数は 81,158 先となりました。なお、職場つみたて NISA は 2026 年 3 月末時点で 958 社にご契約いただいております。さらに、お客さま本位の業務運営が企業文化として定着するべく、新入行員研修等の階層別研修に加え、九州 FG 証券トレーニーなど、より実践的で幅広い研修を行っております。

《投資信託販売における積立型の割合並びに契約先数》

単位：百万円

	2024/3末	2025/3末	2026/3末
年間投信販売額（百万円）	44,939	46,671	52,633
うち積立型	9,285	11,875	17,015
販売額割合	20.7%	25.4%	32.3%
積立投資信託の契約先数	45,154	48,909	52,699

【キャンペーン（年 2 回実施）】

【職場つみたて NISA】

■外部評価の取得

当行のお客さま本位の業務運営について、中立的な外部専門機関がモニタリング・評価するサービス「R&I 顧客本位の金融販売会社評価」を利用し、更なる高度化を図っております。

（2 年連続で ＦＤマーク※を取得）

※FD マーク付与の条件

FD の実践において特に優れた取り組みと実績を示している金融機関であること

「Ｒ＆Ｉ顧客本位の金融販売会社評価」（以下、「本評価」）は、投信販売業務を行う販売会社の「顧客本位の業務運営」の取組みに関する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。R&I が本評価を行うに際して用いた情報は、R&I がその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、R&I は、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。また、その正確性及び完全性につき R&I 等が保証するものではなく、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。本評価に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R&I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

お客さまの最善の利益に資する適切な利益相反管理【基本方針第３条】

【主な取組内容】

当行では、お客さまの最善の利益に資する利益相反管理に向け「利益相反管理方針」を定めております。そのうえで利益相反の可能性がある取引を特定・類型化し、適切な利益相反管理を行っております。

■乗換契約のモニタリング

利益相反の可能性がある取引の具体例として、乗換契約における手数料説明状況等を月次でモニタリング管理しております。

■新商品導入時の検証

新商品選定時には商品提供会社・手数料・商品カテゴリー等を検証のうえ、商品を導入しております。

《投資信託販売額上位 10 銘柄　2025 年度》

		肥後銀行		
順位	カテゴリー	商品名	投信会社名	販売額（百万円）
1	バランス	ＲＯＢＯＰＲＯファンド	SBI岡三アセットマネジメント	4,991
2	国内株式	野村インデックスファンド・日経２２５	野村アセットマネジメント	4,044
3	海外株式	ＷＣＭ　世界成長株厳選ファンド　予想分配金提示型	朝日ライフアセットマネジメント	3,334
4	その他	ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし）	ピクテ・ジャパン	2,584
5	海外株式	ｉＦｒｅｅ　Ｓ＆Ｐ５００インデックス	大和アセットマネジメント	2,503
6	海外株式	たわらノーロード　先進国株式	アセットマネジメントOne	2,431
7	国内株式	たわらノーロード　日経２２５	アセットマネジメントOne	2,307
8	海外債券	ニッセイ投資適格社債Ｆ２０２５－０８　為替Ｈあり・４年投資型	ニッセイアセットマネジメント	1,800
9	バランス	のむラップ・ファンド（普通型）	野村アセットマネジメント	1,671
10	バランス	のむラップ・ファンド（積極型）	野村アセットマネジメント	1,670
		上位10銘柄合計		27,335

《積立投資信託販売件数上位 10 銘柄　2025 年度》

		肥後銀行			
順位	カテゴリー	商品名	投信会社名	分配周期	販売構成
1	国内株式型	たわらノーロード　日経２２５	アセットマネジメントOne	年1回	20.2%
2	海外株式型	たわらノーロード　先進国株式	アセットマネジメントOne	年1回	17.5%
3	海外株式型	たわらノーロード　全世界株式	アセットマネジメントOne	年1回	10.1%
4	海外株式型	ｉＦｒｅｅ　Ｓ＆Ｐ５００インデックス	大和アセットマネジメント	年1回	9.7%
5	海外バランス型	たわらノーロード　バランス（８資産均等型）	アセットマネジメントOne	年1回	4.7%
6	海外株式型	たわらノーロード　新興国株式	アセットマネジメントOne	年1回	3.4%
7	海外バランス型	のむラップ・ファンド（積極型）	野村アセットマネジメント	年1回	2.8%
8	海外株式型	野村インデックスファンド・米国株式配当貴族	野村アセットマネジメント	年1回	2.8%
9	国内株式型	インデックスファンド２２５	アモーヴァ・アセットマネジメント	年1回	2.3%
10	海外株式型	たわらノーロード　先進国株式＜為替ヘッジあり＞	アセットマネジメントOne	年1回	1.7%
		上位10銘柄合計			75.2%

《生命保険販売額上位 10 銘柄　2025 年度》

		肥後銀行		
順位	カテゴリー	商品名	生保会社名	販売額（百万円）
1	個人年金保険	プレミアジャーニー（円建）	第一フロンティア生命保険	3,319
2	個人年金保険	プレミアカレンシー３ベーシック（円建）	第一フロンティア生命保険	2,464
3	終身保険	えらべる外貨建一時払終身（米ドル建）	明治安田生命保険	1,447
4	終身保険	円貨建・エブリバディプラス	明治安田生命保険	922
5	個人年金保険	悠々時間アドバンス（円建）	ニッセイ・ウェルス生命保険	888
6	終身保険	しあわせ、ずっと４（円建）	三井住友海上プライマリー生命保険	842
7	個人年金保険	やさしさ、つなぐ２（円建）	三井住友海上プライマリー生命保険	716
8	終身保険	ビーウィズユープラスⅡ（円建）	メットライフ生命保険	519
9	個人年金保険	おおきなまごころ３（米ドル建）	三井住友海上プライマリー生命保険	514
10	終身保険	しあわせ、ずっと４（米ドル建）	三井住友海上プライマリー生命保険	480
		上位10銘柄合計		12,111

お客さまにご負担いただく手数料等の明確化【基本方針第４条】

【主な取組内容】

■新商品導入時の適切な手数料設定

新商品導入時は、情報提供や契約事務に係る各種コストを総合的に判断して手数料を設定しております。なお、2025 年度は投資信託において、7 商品を導入（限定追加型 1 商品、その他 6 商品）いたしましたが、いずれも、商品特性、類似商品の手数料水準などを勘案し、適切に手数料を設定しました。

■重要情報シート等の活用によるわかりやすい説明

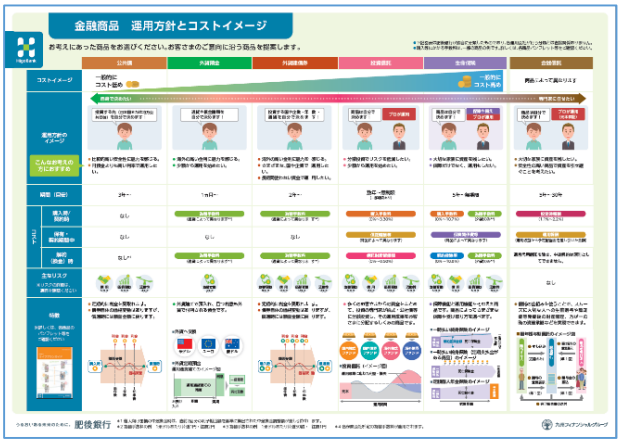
商品販売時の手数料の説明において、各種ツールに加え、投資信託・生命保険・外貨保険の「重要情報シート（個別商品編）」を活用し、よりわかりやすい説明に努めております。

また、ご説明にあたっては、預り資産商品ごとの手数料を比較可能な資料「運用方針とコストイメージ」を活用した、わかりやすい説明を行ってまいります。

なお、手数料につきましては、投資信託ラインナップや当行ホームページにてご確認いただけます。

【お客さまへの説明ツールの一例】

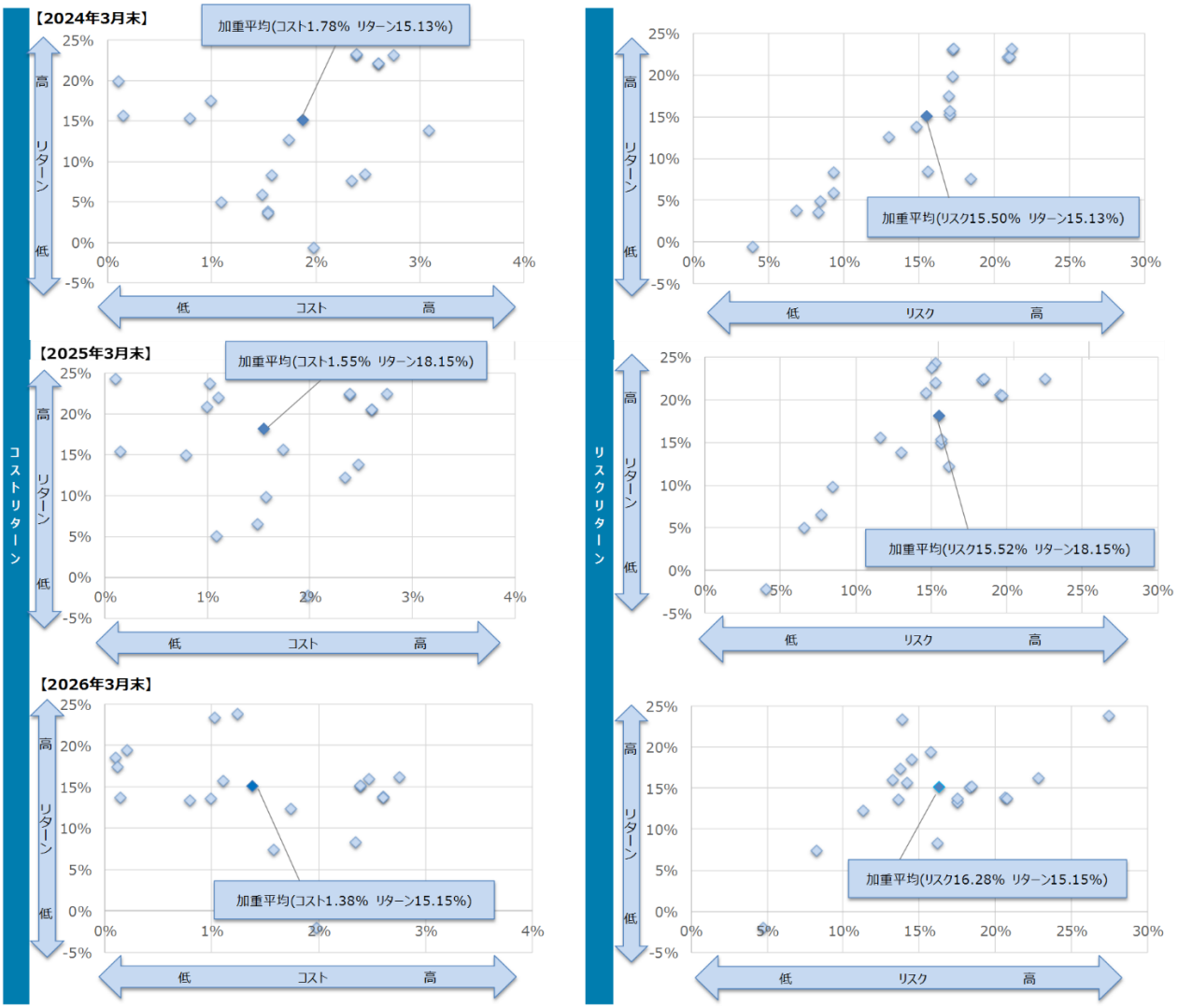
●図表や平易な語句を用いたツールを活用しております。



●ＱNavi の導入により、指標や期間別の運用実績ランキングなども併用し、より専門的な情報も提供しております。

■ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコストリターン・リスクリターン【共通ＫＰＩ】

	ファンド名	コスト	リスク	リターン		ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	インデックスファンド２２５	0.8%	17.5%	13.4%	11	ＦＡＮＧ＋インデックス・オープン	1.2%	27.4%	23.9%
2	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Dコース	2.4%	18.3%	15.2%	12	Ｏｎｅ　ＮＹダウ・インデックス・ファンド	1.1%	14.1%	15.8%
3	たわらノーロード　日経２２５	0.1%	17.5%	13.8%	13	たわらノーロード　全世界株式	0.1%	13.7%	17.4%
4	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年２回決算型）	2.6%	20.6%	13.9%	14	日経平均高配当利回り株ファンド	1.0%	13.9%	23.4%
5	たわらノーロード　先進国株式	0.1%	14.5%	18.6%	15	ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし）	1.2%	17.4%	29.8%
6	のむラップ・ファンド（普通型）	1.6%	8.2%	7.5%	16	グローバル・ロボティクス株式ファンド（１年決算型）	2.6%	20.8%	13.8%
7	ｉＦｒｅｅ　Ｓ＆Ｐ５００インデックス	0.2%	15.7%	19.5%	17	ｎｅｔＷＩＮ　ＧＳテクノロジー株式ファンド　Ｂ（ヘッジなし）	2.8%	22.8%	16.3%
8	米国株式配当貴族（年４回決算型）	1.0%	13.6%	13.7%	18	新光　ＵＳ－ＲＥＩＴ　オープン	2.3%	16.2%	8.4%
9	のむラップ・ファンド（積極型）	1.7%	11.3%	12.4%	19	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.5%	13.2%	16.0%
10	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Bコース	2.4%	18.4%	15.2%	20	投資のソムリエ	2.0%	4.7%	-2.0%
						残高加重平均値	1.4%	16.3%	15.2%



〈定義〉

コスト：基準日時点の販売手数料率と信託報酬率の合計値（年率換算）

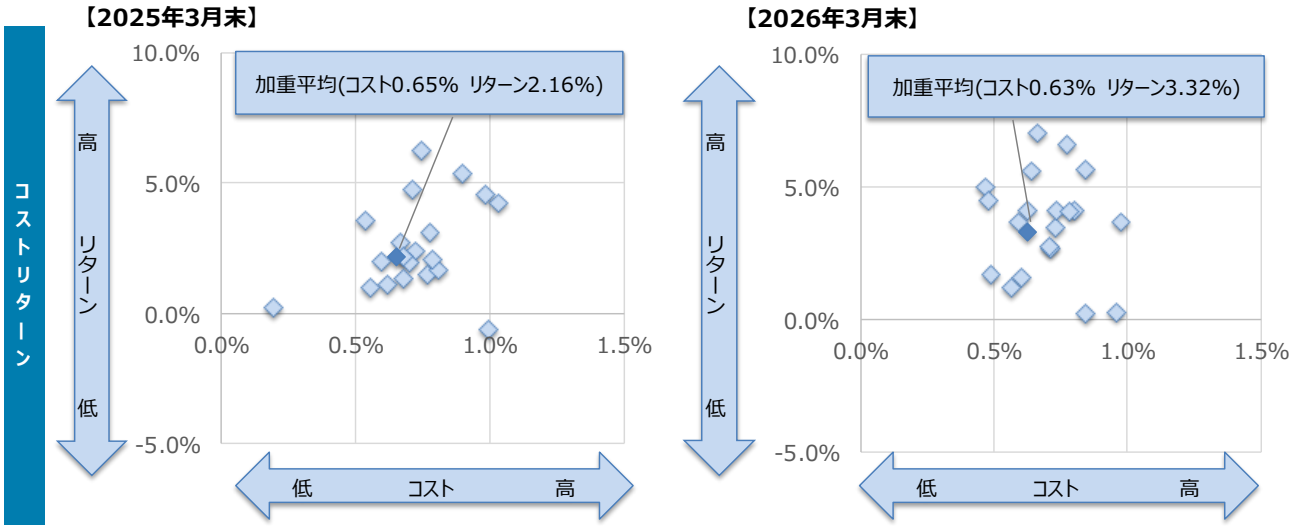
リターン：過去５年間のトータルリターン※（年率換算）

リスク：過去５年間の月次リターンの標準偏差※（年率換算）

＊騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

■外貨建保険の預り残高上位 20 銘柄のコストリターン【共通ＫＰＩ】

	ファンド名	コスト	リターン		ファンド名	コスト	リターン
1	プレミアレシーブ	0.63%	4.15%	11	おおきな、まごころ	0.84%	0.24%
2	やさしさ、つなぐ	0.49%	1.70%	12	えらべる一時払終身保険（受け取るタイプ）	0.65%	5.60%
3	しあわせ、ずっと	0.57%	1.18%	13	ロングドリームＧＯＬＤ３	0.84%	5.65%
4	プレミアプレゼント	0.71%	2.70%	14	ロングドリームＧＯＬＤ	0.60%	1.62%
5	夢のプレゼント	0.47%	4.99%	15	プレミアカレンシー・プラス２	0.71%	2.76%
6	サニーガーデンＥＸ	0.60%	3.68%	16	外貨建エブリバディプラス	0.67%	7.06%
7	ビーウィズユー プラス	0.96%	0.27%	17	プレミアストーリー３	0.73%	4.13%
8	プレミアストーリー２	0.73%	3.44%	18	プレミアベスト	0.80%	4.10%
9	ロングドリームＧＯＬＤ２	0.77%	6.60%	19	あしたの、よろこび２	0.79%	4.04%
10	しあわせ、ずっと２	0.98%	3.70%	20	ビーウィズユー	0.48%	4.48%
					残高加重平均値	0.63%	3.32%



〈定義〉

コスト：保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間(月単位)で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出した各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均

リターン：(基準日時点の解約返戻金額＋基準日時点の既支払金額－契約時点の一時払保険料)
÷（契約時点の一時払保険料）を年率に換算し、各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均（いずれも円換算）

お客さまに応じた分かりやすい情報提供の充実【基本方針第５条】

【主な取組内容】

当行では、説明動画、重要情報シート、各種パンフレット、タブレット等ＩＴツールを活用しながら、各種商品の基本的なリターンやリスク、取引条件等について比較も行いつつ、お客さまの知識・経験を考慮したわかりやすい説明に努めております。

■ＦＤ宣言リーフレット兼重要情報シート（金融事業者編）のご説明

2024 年３月より、「ＦＤ宣言リーフレット兼重要情報シート（金融事業者編）」を作成しております。お客さまに金融商品をご提案する際に事前に当行のお客さま本位の業務運営に関する基本姿勢を説明し、ご理解いただくよう努めてまいります。

【ＦＤ宣言リーフレット兼重要情報シート（金融事業者編）】

■アフターフォローの継続的実施とモニタリング

ご契約後の資産運用状況や市場動向などについて定期的にアフターフォローを実施するほか、市場急変時にもタイムリーな情報提供に努めました（アフターフォロー実施先数 143 千先）。

また、ご高齢のお客さま向け販売や乗換勧誘販売を中心に、ご説明の内容やお客さまのご理解の状況などについて、モニタリングを実施しております。

■金融リテラシー向上に資するお客さま向けセミナーの実施

お客さま向けセミナーは、お客さまの金融リテラシー向上に向けた重要な取り組みの一つであり、職域等の対面形式だけでなくオンライン形式でも開催し、様々な層のお客さまにご参加いただきました。

また、地域の未来を担う子供たちに対する金融経済教育にも積極的に取り組んでまいります。

《実施状況》

	2024年度	2025年度
お客さまセミナー実施回数	1,590	1,520

■ライフイベントに応じた動画配信

お客さまがいつでも自由に情報を取得できるよう、ライフイベントに応じた動画コンテンツを当行ホームページ内にご用意しております。「学生生活」「就職」「結婚」「子育て・教育」「住宅購入」「セカンドライフ」「相続」といったライフイベントにおいて、どのような費用がかかるのか、それに向けてどのような準備をすればいいのか、といった情報をご紹介しております。なお、当行 YouTube 公式チャンネルでもご視聴いただけます。

【NISA を活用した年代別の資産運用動画】

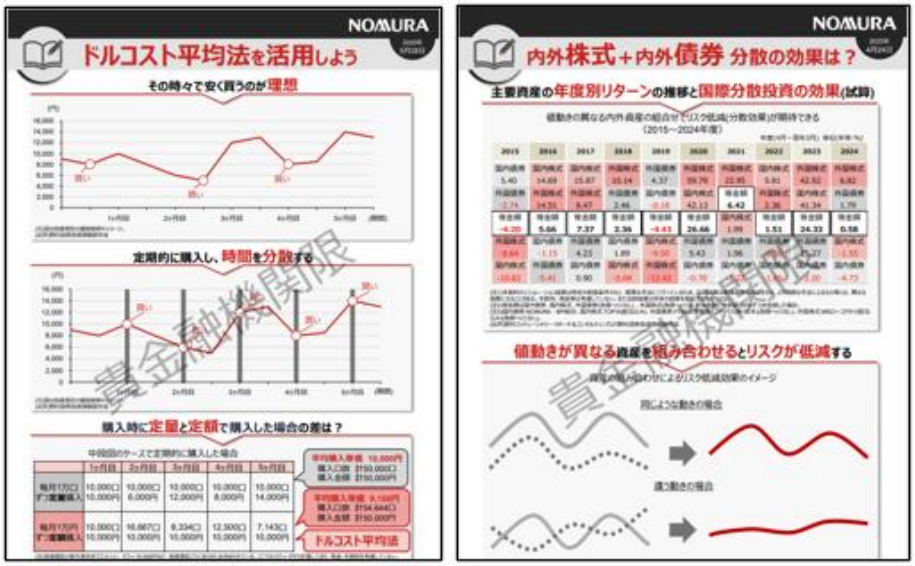
■お客さまへの情報提供

2023 年 3 月から、SNS を活用した新たな情報提供ツールとして、LINE にて「Higin Market Touch」を導入いたしました。お得なキャンペーン情報やセミナーのご案内、投資信託基準価額、マーケット概況などを随時配信しております。

【Higin Market Touch】

また、野村證券作成の資環境や金融基礎知識に関する情報がまとめられた資料を、当行のサービス「ひぎんビュッフェ」として導入しております。ビュッフェのように組み合わせ、お客さまのニーズに応じて資料を組み合わせた情報提供を行ってまいります。

【ひぎんビュッフェ～情報提供資料～】



アフターフォロー等の際には、預金を含む預り資産の保有状況や損益状況を分かりやすく一覧表示した「保有資産レポート」を活用し、タイムリーな情報提供によるお客さまに寄り添ったコンサルティングを実践してまいります。

【情報提供資料（保有資産レポート）】

■コンサルティング専門拠点の設置（プライベートバンキングプラザ山鹿、プライベートバンキングプラザ八代、プライベートバンキングプラザ天草）

高齢化の進展によりますます高まる「そなえる・のこす・つなぐ」ニーズに専門的にお応えする相談拠点を、県内３カ所に設置。長期間にわたる資産承継対策の立案と実施、および、次世代への資産運用提案をワンストップで行うため、プライベートバンカーを配置しております。

お客さまにとって最適かつ最良の金融商品・サービスの提供【基本方針第６条】

【主な取組内容】

■商品ラインナップの充実

当行では、お客さまのニーズに添った金融商品・サービス提供のため、投資信託及び保険商品のラインナップの見直しを行ってまいりました。また、生命保険について、保証や機能（贈与・年金等）を目的に活用することを当行の取扱方針とすることから、運用ニーズを目的とするターゲット型外貨保険の新規取扱を廃止しております。

■資産運用コンサルティングサービス「Q Navi」の活用

真のお客さま本位の業務運営に資するゴールベースアプローチ提案等による、お客さまに寄り添った伴走型コンサルティングの実践を目的として「Q Navi」を導入。また、2024 年 4 月より相続税の試算等による更なる情報提供が可能となる「相続機能」を追加しております。

【資産運用コンサルティングサービス「Q Navi」の画面】

■ポートフォリオシミュレーション機能

■商品提供会社との連携

当行は、商品提供会社とお客さま属性や苦情等の情報を共有し、その情報に基づく検証・分析結果を商品提供会社の選定や商品の導入・改廃等に活用することで、適切なラインナップの構築に努めております。

お客さまの信頼と期待に応える態勢の整備【基本方針第７条】

【主な取組内容】

■お客さま本位の業務運営の浸透・定着に向けた取り組み

当行では、お客さま本位の業務運営の浸透・定着に向け、お客さま本位の業務運営に関するマニュアルの整備や各種研修での講義を実施してまいりました。

あわせて、お客さまのご意向を把握し正確で適切な説明を行うため、お客さまとの対話は録音させていただいております。録音内容は適宜モニタリングを行い、行員教育に活用することで提案品質の向上につなげてまいります。

■行員の資格取得推奨および適切な動機付け

行員の金融商品・サービスの提案や情報提供のスキルアップに向け、ファイナンシャル・プランニング技能士の資格取得を推奨しております。新規取得者の増加と併せて、既取得者による上級資格の取得にも努めております。また、適切な提案やお客さまの満足度向上につながる行動を評価するため、営業店の業績評価基準を適宜見直し、お客さまの信頼と期待に応える態勢整備に取り組んでまいります。

■お客さまの声に基づくサービス品質向上

お客さまの声を業務運営に反映させるため、お客さま向けにアンケートを定期的に実施しております。当行では、この結果を真摯に受け止め、今後の業務運営向上に努めてまいります。

■資産運用関連資格者数

	2024/3末	2025/3末	2026/3末
FP１級、2級	1,222	1,283	1,301

■ＣＳアンケートによる担当者推奨度結果

	肥後銀行
2023年度実施結果	20.4
2024年度実施結果	16.1
2025年度実施結果	36.7

※2025 年度は、当行独自のＣＳアンケート、2024 年度以前は、ＮＰＳ®アンケート結果

(鹿児島銀行)

お客さま本位の最善の利益実現に向けた当社グループの基本姿勢【基本方針第２条】

【主な取組内容】

鹿児島銀行(以下、当行)では、お客さまの最善の利益実現を目指して、特定の商品や商品提供会社に偏らない金融商品・サービスの提供や、積立型投資信託を中心とした長期分散投資の推奨に努めております。

■特定の商品や商品提供会社に偏らない金融商品・サービスの提供

ライフプランニングを起点としたコンサルティング営業を実施するため、ライフプランシミュレーション等のツールを用いて資産運用の必要性をお伝えしてまいりました。

■積立型投資信託を中心とした長期分散投資の推奨

将来に向けた資産形成のきっかけとなるよう「資産運用プラン」を実施し、2026 年 3 月期の積立投資信託における毎月積立の累計額は 118 億円となりました。また、NISA（つみたて投資枠）対応ファンドを導入いたしました。

【資産運用プラン】

お客さまの最善の利益に資する適切な利益相反管理【基本方針第３条】

【主な取組内容】

当行では、お客さまの最善の利益に資する利益相反管理に向け、「利益相反管理基本方針」に定める通り、利益相反の状況が生じる可能性がある取引を特定・類型化するとともに、その特性に応じた管理方法により、適切な利益相反管理を行っております。

■利益相反管理

利益相反管理の統括部署（CR 統括部）においても二次的に選定手順の検証および評価を実施しております。

■乗換契約のモニタリング

お客さまの中長期的かつ効率的な資産形成に資するため、金融商品の乗換契約においてはチェックリストを活用し、お客さまの最善の利益に資する最適な販売取引の実施状況をモニタリングしております。

《投資信託販売額上位 10 銘柄　2025 年度》

順位	カテゴリー	商品名	投信会社名	販売額（百万円）
1	国内株式	日経２２５ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	13,953
2	内外バランス	ROBOPROファンド	SBI岡三アセットマネジメント	4,703
3	海外株式	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型	アライアンス・バーンスタイン	3,713
4	海外株式	ｉＦｒｅｅ S&P500インデックス	大和アセットマネジメント	2,055
5	内外バランス	のむラップ・ファンド（積極型）	野村アセットマネジメント	1,224
6	海外株式	ＦＡＮＧ＋インデックス・オープン	大和アセットマネジメント	1,180
7	国内株式	インデックスファンド２２５	三菱UFJアセットマネジメント	1,139
8	海外債券	ニッセイ投資適格社債ファンド2025-08（為替ヘッジあり・4年投資型）	ニッセイアセットマネジメント	1,122
9	海外株式	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Eコース隔月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型	アライアンス・バーンスタイン	1,117
10	内外株式	たわらノーロード　全世界株式	アセットマネジメントOne	1,115
		上位10銘柄合計		31,321

《積立投資信託販売件数上位 10 銘柄　2025 年度》

順位	カテゴリー	商品名	投信会社名	分配周期	販売構成
1	海外株式	ｉＦｒｅｅ S&P500インデックス	大和アセットマネジメント	1回	9.9%
2	国内株式	たわらノーロード　日経225	アセットマネジメントOne	1回	9.1%
3	海外株式	たわらノーロード　先進国株式	アセットマネジメントOne	1回	8.5%
4	内外株式	たわらノーロード　全世界株式	アセットマネジメントOne	1回	8.1%
5	海外株式	ＨＳＢＣインドオープン	HSBCアセットマネジメント	1回	4.8%
6	内外バランス	のむラップ・ファンド（積極型）	野村アセットマネジメント	1回	4.2%
7	国内株式	インデックスファンド２２５	三菱UFJアセットマネジメント	1回	4.1%
8	内外バランス	たわらノーロード　バランス（8資産均等型）	アセットマネジメントOne	1回	3.3%
9	海外株式	野村インデックスファンド・米国株式配当貴族	野村アセットマネジメント	1回	2.6%
10	海外株式	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース（為替ヘッジなし）	アライアンス・バーンスタイン	2回	2.5%
		上位10銘柄合計			57.1%

《生命保険販売額上位 10 銘柄　2025 年度》

順位	カテゴリー	商品名	生保会社名	販売額（百万円）
1	終身保険	えらべる外貨建一時払終身（米ドル建）	明治安田生命	1,443
2	個人年金保険	プレミアカレンシー３ベーシック（円建）	第一フロンティア生命	742
3	終身保険	サニーガーデンＥＸ（米ドル建）	メットライフ生命	601
4	個人年金保険	プレミアジャーニー（円建）	第一フロンティア生命	540
5	終身保険	しあわせ、ずっと４（円建）	三井住友海上プライマリー生命	461
6	終身保険	円貨建・エブリバディプラス	明治安田生命	387
7	終身保険	ふるはーとＪロードⅢ（円建）	住友生命	325
8	個人年金保険	悠々時間アドバンス（円建）	ニッセイ・ウェルス生命	288
9	終身保険	しあわせ、ずっと４（米ドル建）	三井住友海上プライマリー生命	274
10	個人年金保険	悠々時間アドバンス（米ドル建）	ニッセイ・ウェルス生命	242
		上位10銘柄合計		5,303

お客さまにご負担いただく手数料等の明確化【基本方針第４条】

【主な取組内容】

当行では、商品ごとの手数料内容を十分理解し、お客さまの知識・経験に応じたわかりやすい説明に努めてまいります。

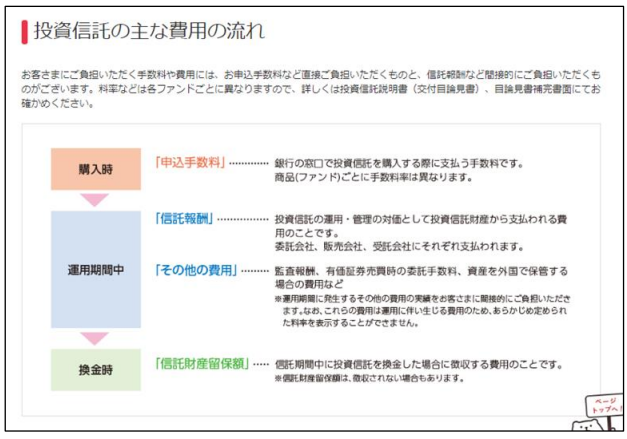
■手数料の設定

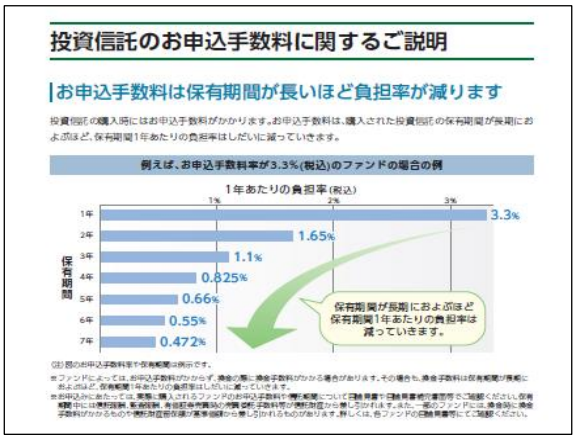
情報取得をお客さまご自身で行っていただくインターネットバンキングにおいては、同一商品を対面で販売する場合と比べて、手数料等が割安となっております。また、同一ベンチマークと連動した成果を目指すインデックスファンドにおいても、委託会社が異なる場合には事務手続きに係るコストが異なり、手数料等が異なる場合がありますが、手数料等については、「投資信託ラインナップ」やホームページ等にてご確認いただけます。またホームページでは、手数料で取扱投資信託を比較いただけるページを追加いたしました。

■手数料説明ツール

商品販売時等の手数料の説明において、各種説明ツールを用いております。より理解できるわかりやすい説明となるよう、「重要情報シート（生命保険・外貨預金）」に加え、新たに金融商品を横断的に比較いただけるツールを作成し活用しております。

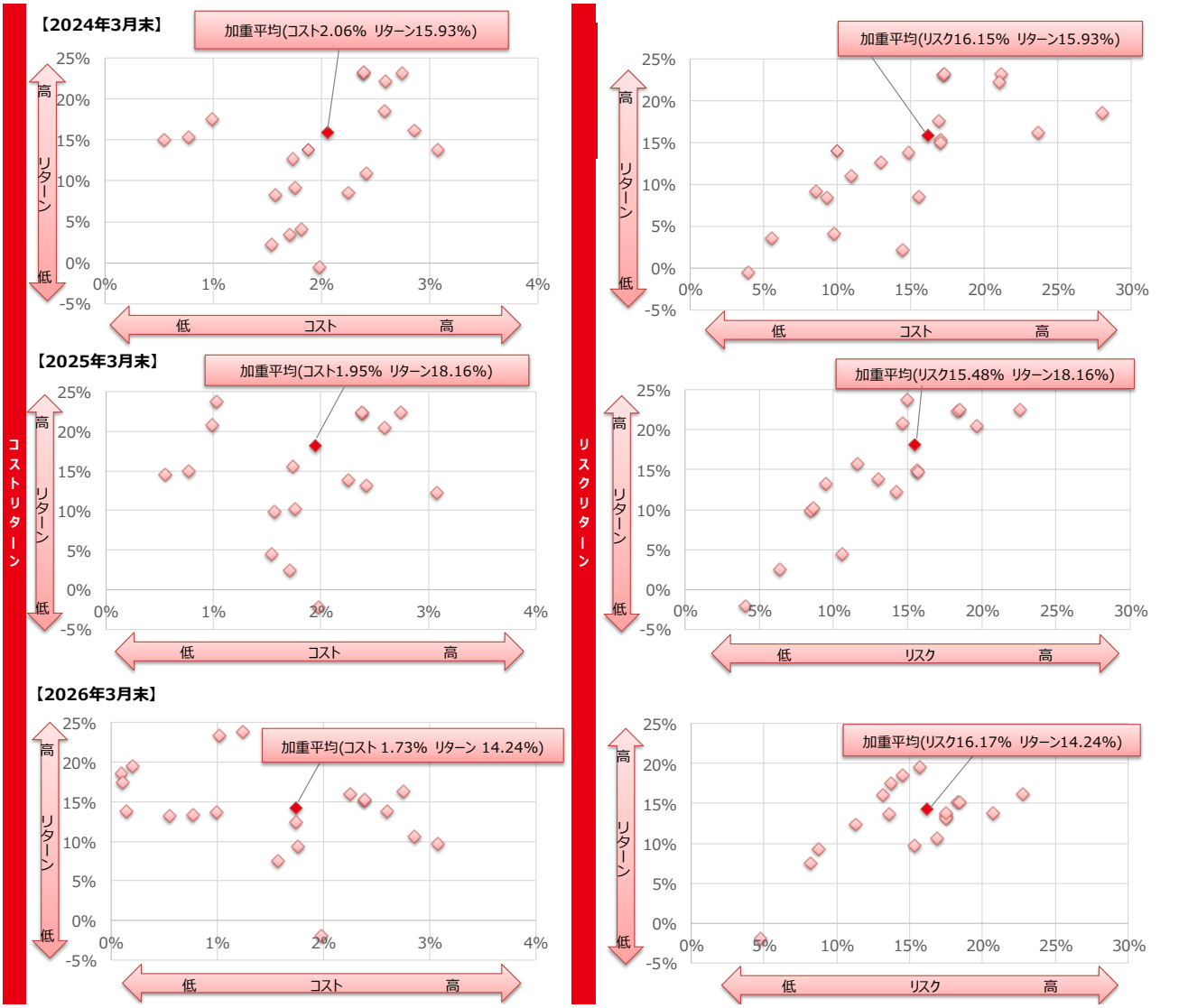
【手数料説明ツール】





■ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコストリターン・リスクリターン【共通ＫＰＩ】

	ファンド名	コスト	リスク	リターン		ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Dコース	2.39%	18.28%	15.15%	11	米国株式配当貴族（年４回決算型）	0.99%	13.57%	13.67%
2	インデックスファンド２２５	0.77%	17.48%	13.36%	12	ＦＡＮＧ＋インデックス・オープン	1.24%	27.43%	23.88%
3	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.25%	13.19%	16.04%	13	日経２２５ノーロードオープン	0.55%	17.51%	13.12%
4	ＨＳＢＣインドオープン	2.86%	16.88%	10.63%	14	グローバル・ロボティクス株式ファンド（１年決算型）	2.60%	20.76%	13.79%
5	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Bコース	2.39%	18.40%	15.22%	15	たわらノーロード　先進国株式	0.10%	14.50%	18.57%
6	のむラップ・ファンド（普通型）	1.57%	8.19%	7.46%	16	日経平均高配当利回り株ファンド	1.02%	13.88%	23.41%
7	ｉＦｒｅｅ　Ｓ＆Ｐ５００インデックス	0.20%	15.73%	19.50%	17	たわらノーロード　日経２２５	0.14%	17.48%	13.78%
8	のむラップ・ファンド（積極型）	1.74%	11.27%	12.36%	18	投資のソムリエ	1.98%	4.74%	-1.98%
9	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	3.08%	15.34%	9.70%	19	フランクリン・テンプルトン・グローバル・プラス（毎月分配型）	1.76%	8.76%	9.29%
10	ｎｅｔＷＩＮ　ＧＳテクノロジー株式ファンド　Ｂ（ヘッジなし）	2.75%	22.80%	16.26%	20	たわらノーロード　全世界株式	0.11%	13.71%	17.44%
						残高加重平均値	1.73%	16.17%	14.24%



〈定義〉

コスト：基準日時点の販売手数料率と信託報酬率の合計値（年率換算）

リターン：過去５年間のトータルリターン※（年率換算）

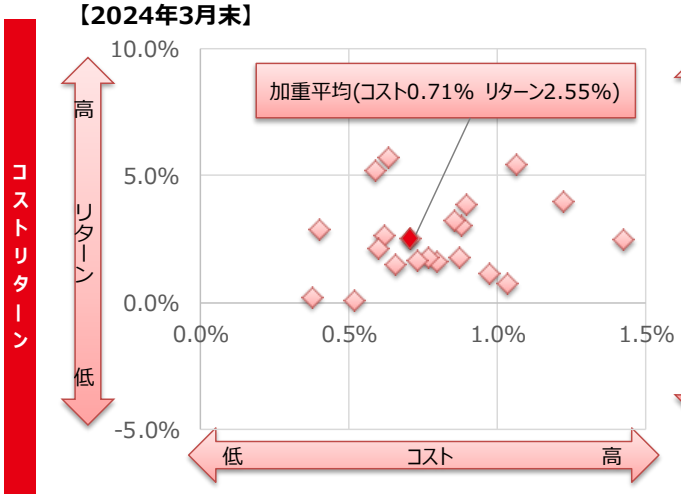
リスク：過去５年間の月次リターンの標準偏差※（年率換算）

＊騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

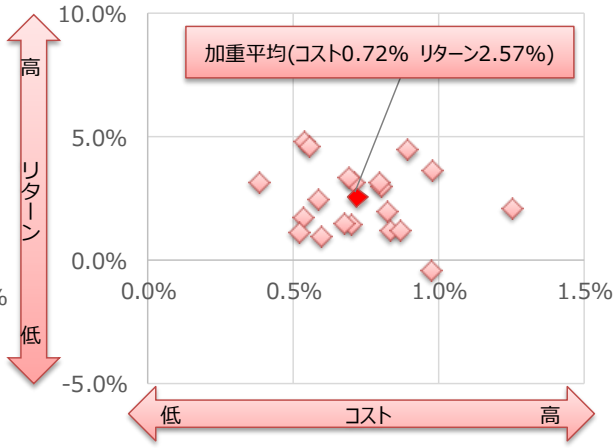
■ 外貨建保険の預り残高上位 20 銘柄のコストリターン【共通ＫＰＩ】

	ファンド名	コスト	リターン		ファンド名	コスト	リターン
1	プレミアレシーブ	0.53%	3.61%	11	プレミアベスト	0.79%	4.33%
2	サニーガーデンＥＸ	0.73%	4.47%	12	ビーウィズユー（ＵＳドル建）	0.49%	5.19%
3	サニーガーデン	0.49%	2.73%	13	三大陸	0.34%	4.28%
4	しあわせ、ずっと	0.63%	1.68%	14	ロングドリームＧＯＬＤ	0.61%	1.66%
5	やさしさ、つなぐ	0.49%	1.94%	15	夢のプレゼント	0.48%	5.34%
6	ビー　ウィズ　ユー　プラス	0.94%	0.29%	16	ロングドリームＧＯＬＤ３	0.85%	5.12%
7	プレミアプレゼント	0.77%	2.48%	17	デュアルドリーム	1.10%	2.37%
8	おおきな、まごころ	0.78%	1.05%	18	しあわせ、ずっと２	0.96%	3.36%
9	ロングドリームＧＯＬＤ２	0.77%	6.13%	19	プレミアストーリー２	0.75%	3.72%
10	ビーウィズユー（豪ドル建）	0.54%	2.32%	20	えら終受け取る米	0.64%	5.51%
					残高加重平均値	0.62%	3.51%

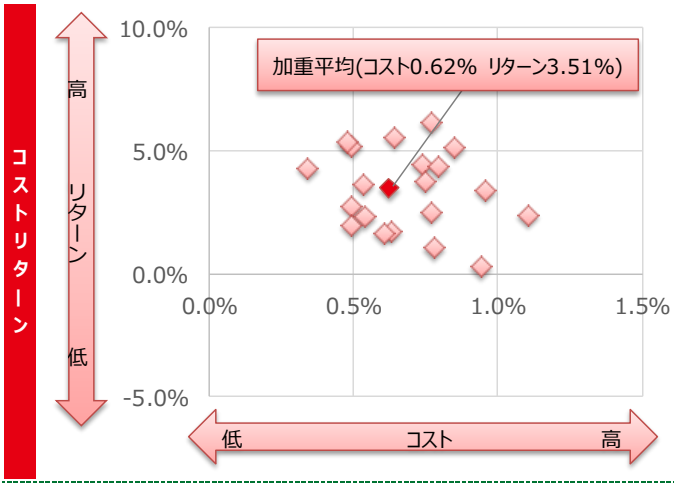
【2024年3月末】



【2025年3月末】



【2026年3月末】



〈定義〉

コスト：保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間(月単位)で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出した各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均

リターン：(基準日時点の解約返戻金額＋基準日時点の既支払金額－契約時点の一時払保険料)
÷（契約時点の一時払保険料）を年率に換算し、各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均（いずれも円換算）

お客さまに応じた分かりやすい情報提供の充実【基本方針第５条】

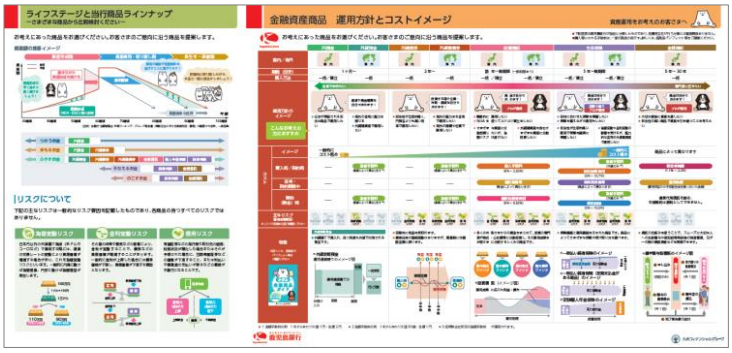
【主な取組内容】

当行では、重要情報シート、各種パンフレット、タブレット等ＩＴツールを活用しながら、各種商品の基本的なリターンやリスク、取引条件等について比較も行いつつ、お客さまの知識・経験を考慮したわかりやすい説明に努めております。

■ライフステージに合わせた幅広いソリューションのご提供

- お客さまのお考えに寄り添いながら、取り扱いの金融商品を、横断的にご検討いただけるよう努めております。ご自身のリスク許容度に応じて、単品の商品での運用を追求されるお客さまには、ニーズに相応しい商品をアドバイスします。
- 万一時の備えや介護、円滑な相続・資産承継などのお客さまの多様かつ日々刻々と変化するニーズに対応すべく、お客さまお一人おひとりにふさわしい商品・サービスの提供を行ってまいります。

【ライフステージを踏まえた検討・商品の横断的な比較】



・NISA のご案内動画「上手に賢く資産形成！NISA の説明書」を作成し、ホームページや公式 Youtube チャンネルに掲載いたしました。お客さまが時間と場所を選ばすにご覧いただける情報の拡充に取り組んでおります。

■セミナーの開催

情報提供を通じてより多くのお客さまの資産形成・資産運用のサポートを行うために、お客さま向けセミナーを、オンライン開催含め実施しております。また、お取引先の従業員の方々に対し、お金に関する知識を正しく活用していただくことを目的とした職域セミナーを開催しております。職域セミナーを通じてお取引先の従業員福利厚生の充実と採用活動等に貢献してまいります。

また、地域貢献の取り組みとして、地域の小学校・中学校・高校・大学において金融経済教育を計 14 回実施しました。

《2025 年度　金融経済教育の実施状況》

金融経済教育実施回数	14
参加者数	971

■継続的なフォローアップ

ご契約後の資産運用状況や市場動向などについて定期的にフォローアップを実施するほか、金融基礎知識に関する情報や最新のマーケット情報等、お客さまへの早急なフォローアップが必要となる相場動向急変時にタイムリーな情報提供を行ってまいります。

■情報提供資料の追加

投資環境や金融基礎知識に関する情報がまとめられた資料を新たに追加しました。ビュッフェのように組み合わせ、お客様さまのニーズに応じて資料を組み合わせた情報提供を行ってまいります。

【かぎんホワイトレーベル】

相場急変時フォローアップ

金融基礎知識に関する情報

■ご高齢のお客さまへの対応

ご高齢のお客さまに対しては複数回のご面談を実施し、ご家族等の同意をご依頼するなどお客さまのご認識状況に合わせて丁寧に対応しております。

■モニタリング

お客さまへの情報提供の実施状況については、交渉記録のモニタリングを実施し商品選定の合理性やリスクに関する理解度等を定期的に確認し、検証を行っております。また、ご高齢のお客さま向け販売や乗換勧誘販売を中心に、販売担当者の説明の内容やお客さまのご理解の状況などについて、本部関連部等にてモニタリングを実施しております。

お客さまにとって最適かつ最良の金融商品・サービスの提供【基本方針第６条】

【主な取組内容】

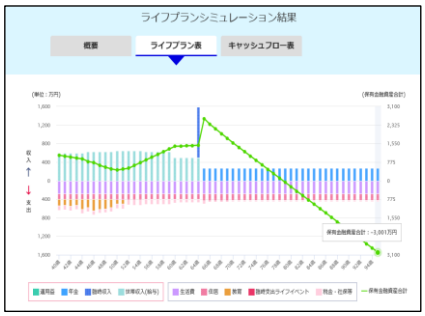
当行では、お客さまの想いを大切にし、ライフプランなどに合わせ中長期的な視点でコンサルティングを実施し、お客さまにとって最適かつ最良の金融商品・サービスを提供してまいります。多種多様なニーズに対応するべく、投資信託および生命保険のラインナップを見直し、新たな投資対象や機能を備えた新商品を導入しております。ご成約後も、お客さまの保有資産の状況や市場動向などの情報についてタブレット等を活用しつつ継続的に提供し、定期的にフォローアップを実施しております。

仕組債については、リスクの所在や手数料の構造が複雑なため、お客さまの中長期的な資産運用には適さないことから新規のお取り扱いはいたしておりません。また、生命保険は保険本来の保障を目的とした金融商品として考えており、運用機能に特化した目標設定型(ターゲット型)保険は、お取り扱いはいたしません。

■お客さまのニーズ把握のためのツール

ライフプランシミュレーションや相続資産承継コンサルティングシート等を活用することにより、お客さまのニーズを把握しソリューションの提供に努めています。

【お客さまのニーズ把握のためのツール】



お客さまの信頼と期待に応える態勢の整備【基本方針第７条】

【主な取組内容】

当行では、全行員向けにお客さま本位の業務運営の浸透・定着に向けた当行の取組状況・ＫＰＩの周知を行っております。また、お客さまの目線でお客さま本位の業務運営の定着状況を把握することを目的に、NPS®アンケートを実施いたしました。お客さまの声を行員にフィードバックし、今後の営業活動に生かしてまいります。

■人材育成

・研修の実施

お客さま本位の業務運営が企業文化として定着すべく、また金融知識やコンサルティング力の向上を目的に、新入行員や預り資産販売担当者等を対象とした階層別研修を計 9 回、営業責任者・内部管理責任者等を対象とした研修を計 6 回実施しました。また、「個人営業担当者研修」として、行員の成長支援と、より専門性の高いコンサルティング力向上のための新たな研修体制を構築し実施しております。

■評価体系

適切な販売状況やお客さまの満足度向上につながる行動を評価する営業店業績評価や人事評価を通して、お客さまの信頼と期待に応える態勢の整備に取り組んでおります。

《ＮＰＳ®アンケート結果》

	鹿児島銀行
2023年度実施結果	33.9
2024年度実施結果	45.9
2025年度実施結果	16.4

※2025 年度から対象先を拡大

【ＮＰＳ®について】

ＮＰＳ®（ネット・プロモーター・スコア®）アンケートとは、お客さまが企業やブランド、商品・サービスに対して抱く信頼感や愛着を表す指標で、顧客満足度と違い、今後お客さまが「知人やご家族にどのくらい勧めたいか（推奨度）」を測るものです。

【計算方法】

NPS® =「推奨するお客さまの割合」−「推奨しないお客さまの割合」

質問:ご家族や友人から相談を受けた場合、担当者を薦めたいと思いますか？（10 点満点）

→10～9 点を「推奨する立場」、8～7 点を「中立の立場」、6～0 点を「推奨しない立場」に分類

（例）回答者数 100 人　推奨する：50 人、中立：10 人、推奨しない：40 人

推奨する（9 点以上）お客さまの割合 50% − 推奨しない（6 点以下）お客さまの割合 40% ＝ NPS® 10

注：ＮＰＳ®とネット・プロモーター・スコア®は、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズの登録商標です。

■地域貢献

・金融経済教育の取り組み

例年、小学生４～６年生を対象とした「親子で研究！かぎん夏休みお金の教室」を開催しております。また、小学校・中学校・高校を対象とした「職場体験」では、紙幣の数え方などの実習や銀行の社会的役割についての講義、次世代を担う子どもたちの金融知識向上に努めています。県内大学では、金融リテラシー向上のため金融や各市場の基本、金融の社会的役割について講義を実施しております。

【夏休みお金の教室】

【大学寄附講座】

(九州 FG 証券)

お客さま本位の最善の利益実現に向けた当社グループの基本姿勢【基本方針第２条】

【主な取組内容】

九州 FG 証券(以下、当社)では、お客さまの最善の利益の実現に向け、役職員の能力向上に努め、お客さまニーズ、金融リテラシーに応じた商品・サービスの提供ならびにオンラインセミナーやダイレクトメール等を活用した情報発信にも取り組んでおります。

また、お客さまの最善の利益の実現状況を図る指標として「運用損益別顧客比率（投資信託）」を公表しております。2026 年 3 月期においては、不安定なマーケットの中においても約 90%のお客さまが損益プラスとなりました。

当社では、リスクの分散と安定的なリターン実現に資するため、NISA 制度の活用促進や積立型投資信託ならびにキャンペーンの実施を通じて長期分散投資を中心に推奨しております。

2026 年 3 月末において、NISA 口座数は 128,542 件（前年度末比＋9,439 件）と増加といたしました。同様に積立型投資信託のご契約口座数は 90,695 人（同＋3,665 人／＋4.2%）、販売額は 264 億円（同＋39.3 億円／＋17.4%）となり、投資信託販売額の 29.4%を占めております。

当社の安定的な業務運営にはお客さまの長期的かつ安定的な資産形成こそが不可欠であり、今後も指標の検証ならびに結果の公表を通じ、当社の取り組み状況を継続的にお客さまに開示してまいります。

また、お客さまの安定的な資産形成にそぐわない短期売却や乗換売買については、基準を明確化し、日々検証を行っております。

地域に根差し、お客さまに寄り添う存在として、企業スローガン「これからを、あなたのとなりで。」に掲げる通り、お客さまとともに成長し、最善の利益実現に向けた取り組みを継続してまいります。

■投資信託販売における積立型の割合並びに積立型の契約口座数および NISA 口座数

単位：百万円

	2024/3末	2025/3末	2026/3末
年間投信販売額（百万円）	88,894	92,054	90,070
うち積立型	12,122	22,537	26,466
販売額割合	13.6%	24.5%	29.4%
積立投資信託の契約先数（人）	76,336	87,030	90,695
NISA口座数（件）	99,923	119,103	128,542

■資産運用キャンペーン

お客さまの最善の利益に資する適切な利益相反管理【基本方針第３条】

【主な取組内容】

当社では、「利益相反管理基本方針」を定め、当社ＣＲ統括部が当該方針に基づき、取引及び商品選定における利益相反の可能性をいくつかの類型に分類し、適切に管理しております。

投資信託商品ラインナップにおいて、特定の商品提供会社の偏重はなく、また、2026 年 3 月期の投資信託取引において、過度に委託手数料（商品提供会社から当社が受取る手数料）に傾注した取引は認められておりません。

グループ内の肥後銀行・鹿児島銀行を含む九州内地銀の一部において共同で取り扱う「九州 SDGｓ・グローバルバランスファンド」についても、当該銘柄が特に推奨される等の事象は確認されておりません。

■投資信託販売額上位 10 銘柄　2025 年度

順位	カテゴリー	商品名	投信会社名	販売額（百万円）	手数料率
1	バランス型	ＲＯＢＯＰＲＯファンド	ＳＢＩ岡三	9,784	2.2%
2	海外株式型	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Ｄコース	アライアンス	5,408	3.3%
3	海外株式型	ｉＦｒｅｅ　Ｓ＆Ｐ５００インデックス	大　和	4,564	0.0%
4	国内株式型	野村インデックスファンド・日経２２５	野　村	4,521	0.0%
5	海外株式型	ＷＣＭ　世界成長株厳選ファンド　予想分配金提示型	朝日ライフ	4,440	3.3%
6	国内株式型	日経２２５ノーロードオープン	ＡＭ－Ｏｎｅ	3,807	0.0%
7	その他オルタナティブ	ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし）	ピクテ	3,577	2.2%
8	海外株式型	たわらノーロード　先進国株式	ＡＭ－Ｏｎｅ	3,222	0.0%
9	国内株式型	たわらノーロード　日経２２５	ＡＭ－Ｏｎｅ	2,978	0.0%
10	海外債券	ニッセイ投資適格社債Ｆ２０２５－０８　為替Ｈあり・４年投資型	ニッセイ	2,934	1.1%
		上位10銘柄合計		45,235	
(参考)	バランス	九州ＳＤＧｓ・グローバルバランス	りそなアセットマネジメント	14	1.65%

■積立投資信託販売件数上位 10 銘柄　2025 年度

順位	カテゴリー	商品名	投信会社名	分配周期	販売構成
1	海外株式型	ｉＦｒｅｅ　Ｓ＆Ｐ５００インデックス	大　和	年1回	12.5%
2	海外株式型	たわらノーロード　先進国株式	ＡＭ－Ｏｎｅ	年1回	12.2%
3	国内株式型	たわらノーロード　日経２２５	ＡＭ－Ｏｎｅ	年1回	11.3%
4	海外株式型	たわらノーロード　全世界株式	ＡＭ－Ｏｎｅ	年1回	10.1%
5	バランス型	のむラップ・ファンド（積極型）	野　村	年1回	5.3%
6	海外株式型	ＦＡＮＧ＋インデックス・オープン	大　和	年1回	3.0%
7	海外株式型	野村インデックスファンド・米国株式配当貴族	野　村	年1回	2.9%
8	バランス型	たわらノーロード　バランス（８資産均等型）	ＡＭ－Ｏｎｅ	年1回	2.6%
9	バランス型	のむラップ・ファンド（普通型）	野　村	年1回	2.6%
10	海外株式型	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Ｂコース	アライアンス	年2回	2.2%
		上位10銘柄合計			64.6%

お客さまにご負担いただく手数料等の明確化【基本方針第４条】

【主な取組内容】

お客さまにご負担いただく手数料その他の費用（以下、「手数料等」）については、購入時及び継続的な情報提供、事務手続等に係るコストを総合的に勘案して設定しております。このため、お客さまが自ら能動的に情報取得する必要のあるオンライントレードにおきましては、対面販売と比べて手数料等を割安に設定しております（同一商品対面販売比：投資信託▲20%、株式▲50%）。

また、同一のベンチマークと連動した成果を目指すインデックスファンドにおいても、委託会社が異なる場合には事務手続きに係るコストが異なることから、手数料等が異なる場合がございます。

当社では、これらの手数料について、「スタートガイド」や「ファンドラインナップ」などを通じお客さまにご提示しております。また、当社ホームページにも掲載しており、常時ご確認いただけます。また、勧誘等にあたっては、「目論見書」（投資信託）、「商品概要説明書」（債券）等を用いてご説明しております。

より分かりやすくご説明するためのツールとして、当社で取り扱う店頭受付ファンドについて「重要情報シート（個別商品編）」を活用し、お客さまの知識・経験に応じた分かりやすい説明を行ってまいります。

■お客さまへのご説明ツール

■投資信託

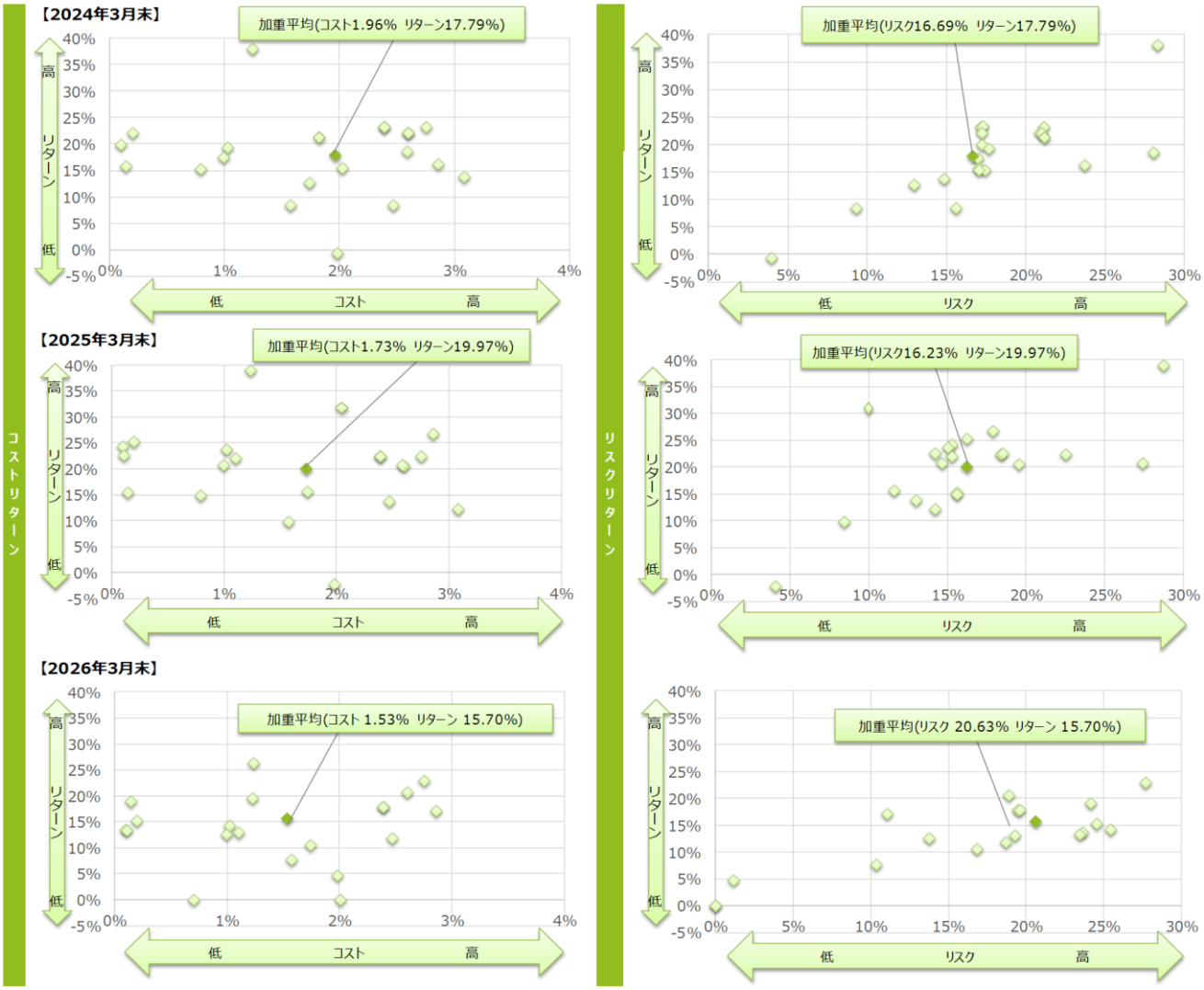
■ファンド詳細（イメージ）

■重要情報シート（イメージ）

■投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコストリターン・リスクリターン【共通ＫＰＩ】

	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Dコース	2.39%	19.48%	17.81%
2	のむラップ・ファンド（普通型）	1.57%	10.35%	7.67%
3	ｉＦｒｅｅ　Ｓ&Ｐ５００インデックス	0.20%	24.52%	15.24%
4	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Bコース	2.39%	19.58%	17.93%
5	米国株式配当貴族（年４回決算型）	0.99%	13.71%	12.52%
6	たわらノーロード　日経２２５	0.14%	24.12%	19.05%
7	たわらノーロード　先進国株式	0.10%	23.61%	13.64%
8	のむラップ・ファンド（積極型）	1.74%	16.82%	10.58%
9	ＦＡＮＧ＋インデックス・オープン	1.24%	37.38%	26.43%
10	ＲＯＢＯＰＲＯファンド	2.00%	0.00%	0.00%

	ファンド名	コスト	リスク	リターン
11	ｎｅｔＷＩＮ　ＧＳテクノロジー株式ファンド　Ｂ（ヘッジなし）	2.75%	27.69%	23.05%
12	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47%	18.72%	11.80%
13	日経平均高配当利回り株ファンド	1.02%	25.43%	14.22%
14	たわらノーロード　全世界株式	0.11%	23.41%	13.32%
15	Ｏｎｅ　ＮＹダウ・インデックス・ファンド	1.10%	19.28%	13.05%
16	投資のソムリエ	1.98%	1.12%	4.75%
17	ＨＳＢＣインドオープン	2.86%	11.02%	17.17%
18	ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし）	1.23%	38.92%	19.50%
19	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年２回決算型）	2.60%	18.88%	20.64%
20	インデックスファンドＭＳＣＩオール・カントリー（全世界株式）	0.70%	0.00%	0.00%
	残高加重平均値	1.53%	20.63%	15.70%



〈定義〉

コ ス ト：基準日時点の販売手数料率と信託報酬率の合計値（年率換算）

リターン：過去 5 年間のトータルリターン※（年率換算）

リ ス ク：過去 5 年間の月次リターンの標準偏差※（年率換算）

＊騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

お客さまに応じた分かりやすい情報提供の充実【基本方針第５条】

【主な取組内容】

当社は、基本的な利益（リターン）、損失その他のリスク、取引条件、選定理由といった各種情報について、お客さまにご説明が必要となる重要な情報と位置づけております。

重要な情報については十分にご理解いただく必要があることから、お客さまの取引経験・金融知識に応じて分かりやすく説明するために、ファンドラインナップ、重要情報シート（個別商品編）、コンサルティングツール等を活用してまいりました。情報提供の実施状況については、お客さまとの接触状況やイレギュラーな取引（短期売買、乗り換えなど）のモニタリングを行い、系列銀行とも連携しながら検証を実施しております。

また、ホームページはお客さまの情報源として重要なツールであるという認識から、継続的に内容のリニューアルや発信情報の充実、投資詐欺等への注意喚起も含めて積極的に発信しております。

なお、2026 年 3 月期は、情報提供の一環として、オンラインセミナーを延べ 10 回実施し、累計 1,200 人を超えるお客さまのご参加をいただきました。セミナーの内容については、ファンドの運用報告、積立投資（ドルコスト平均法）のメリット、相場急変時の内容など多岐にわたっております。今後も引き続き、お客さまの様々なニーズにお応えできるよう、幅広いテーマで実施してまいります。また、年間を通じて、適宜ホームページや電子メール等を通じてセミナー案内を展開しており、ご参加いただけるお客さまは年々増加しております。

フォローアップについては、ご契約後の運用状況、マーケット動向等を定期的にお客さまにご報告するだけでなく、市場急変時（投資信託基準価額の一定基準への抵触のタイミング）には、お客さまにご安心いただけるようタイムリーなアプローチを行い、丁寧な情報提供に努めてまいりました。

■アフターフォロー実施状況

	単位	九州FG証券		
		2023年度	2024年度	2025年度
アフターフォロー実施先数	（先）	8,095	9,221	13,388
お客さまセミナー実施回数	（回）	13	16	10
セミナー参加者数	（人）	1,166	1,599	1,221

■セミナー

お客さまにとって最適かつ最良の金融商品・サービスの提供【基本方針第６条】

【主な取組内容】

当社では、お客さまの多様なニーズにお応えできるよう、国内外、主となる運用対象資産、投資方針によるカテゴリーを充実するだけでなく商品選定の分かりやすさにも配慮し、バランスの取れた商品ラインナップの充実を図ってまいりました。

新商品の選定においては、お客さまにご負担いただく手数料等、基本的なリスク・リターン、既存商品との差異、競合他社における導入状況、商品提供会社が想定する顧客層と当社のお客さまとのフィット・アンド・ギャップ等を踏まえ、営業部門・管理部門・経営企画部門で構成される委員会による協議を経て、総合的な判断のもと選定しております。

また、商品ラインナップの整理（販売チャネル見直し含む）に際しては、専門的知見を持ち合わせた外部専門業者（R&I）による投資信託評価レポートを基に、販売状況、商品管理コスト、お客さまの利益等を総合的に勘案した上で対応しております。

2026年３月期は、投資信託商品ラインナップに14銘柄を新たに追加し、15銘柄の販売停止を行いました。別途、限定追加型の投資信託商品として２銘柄を導入いたしました。

※複雑な仕組債はリスクの所在や手数料の構造が分かりにくく、お客さまの中長期的な資産形成には適さないことから2022 年 10 月より新規のお取り扱いはいたしておりません。

■投資信託商品ラインナップ（商品数・比率）　2026 年 3 月末

カテゴリー		九州FG証券		前年	
		商品数	比率	商品数	増減
国内	債券型	5	2.7%	5	0
	株式型	21	11.4%	20	1
	REIT型	3	1.6%	3	0
	バランス型	0	0.0%	0	0
海外	債券型	26	14.1%	37	-11
	株式型	77	41.6%	73	4
	REIT型	7	3.8%	8	-1
	バランス型	40	21.6%	34	6
その他		6	3.2%	6	0
合計		185	100.0%	186	-1
うちノーロード（除くつみたてNISA専用）		24	13.0%	24	0
つみたてNISA専用		17	9.2%	17	0

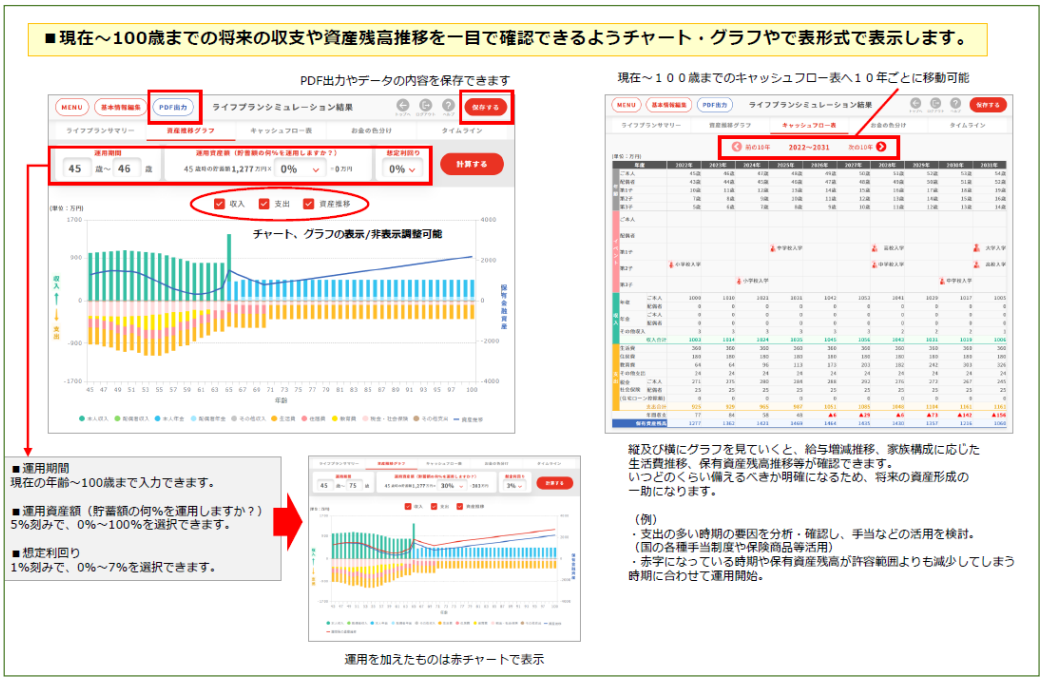
※限定追加型投資信託商品を除く

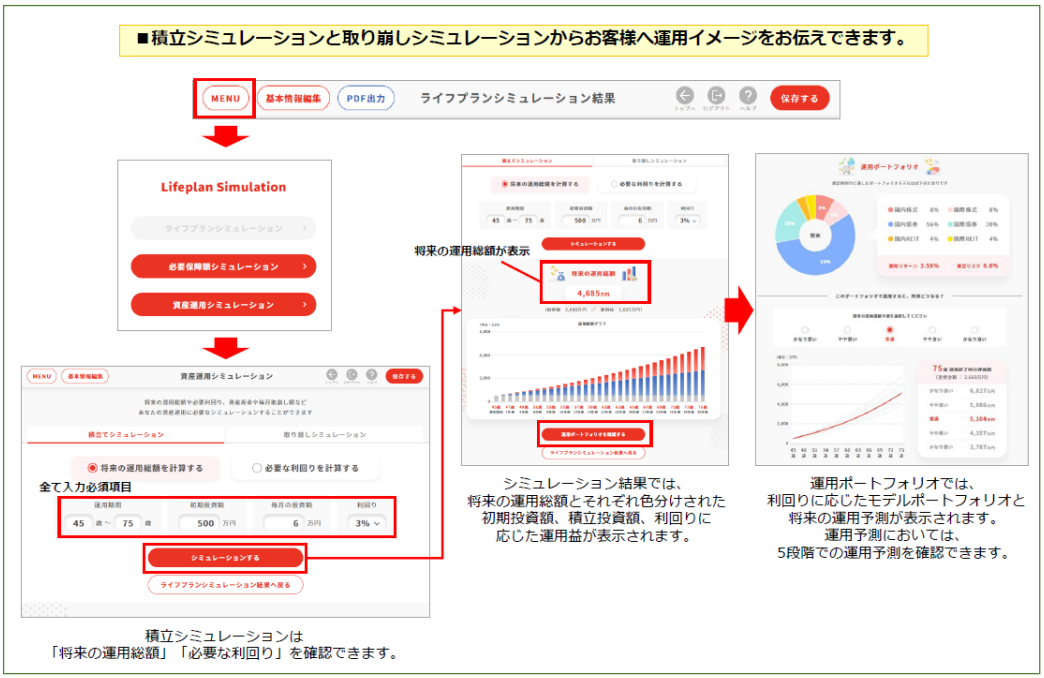
当社では、ゴール・ベース・アプローチの観点から、コンサルティングに重点を置き、お客さまの資産状況、取引経験、知識や投資目的・ニーズ、ライフプラン等を踏まえ、想定される顧客層と乖離がない金融商品・サービス等のご提案についてツール等を活用しながら実践しております。当社とお取引いただいているお客さまの最善の利益が実現できるよう、継続的な取り組みに注力いたします。

一方、お客さまにふさわしくないと想定される取引の発生を抑制するための仕組みを構築しております。具体的には、お客さまからのヒアリングに基づき、お客さまのリスク許容度や投資意向を分類し、個別商品にもリスク・リターンに応じたランク分けを行うことで、リスク許容度が低いお客さまに対し、営業員がハイリスク商品を推奨できない仕組みとしております。

また、ご高齢のお客さまには担当者とは別の者が健康状態やご提案の理解度確認を行うなど、また家族同席での面談をお願いする等、より慎重な推奨に努めております。

■コンサルティングツール





お客さまの信頼と期待に応える態勢の整備【基本方針第７条】

【主な取組内容】

当社では、お客さまとの対話による真のゴール・ベース・アプローチの実践に向け、当社営業員のスキルアップに加え、当社系列銀行から受け入れた人材を当社で育成し、還元することでグループ全体でのスキルアップに向けて取り組んでおります。

また、ミッション実現には営業員のスキルアップが不可欠であり、業務遂行に必要な知識・スキルの現状把握を行うツール、お客さまとの対話を通じてヒアリング能力を強化するツールなどの独自の育成ツールを策定し、より効果的かつ効率的に能力開発が実現できる環境を整備しております。

グループ共通でファイナンシャル・プランニング技能士の資格取得を推奨しており、2026 年 3 月末時点での当社役職員における取得者数は 68 名、取得率は 73.1%となりました。当該資格については、未取得者の新規取得と既存取得者の上位資格取得を奨励してまいります。

■資産運用関連資格者数

（人）	2024/3末	2025/3末	2026/3末
FP1級	9	10	8
FP2級	51	52	60
FP１級、2級	60	62	68

なお、継続的に研修や勉強会を実施しており、営業員の知識・スキルの向上の一助となっております。

系列銀行行員向けには、引き続き証券トレーニー研修を実施し、また当社営業員を主な対象として様々なテーマ（マーケット動向・展望、個別商品など）の WEB 勉強会を開催することで、多くの成長機会を創出いたしました。

研修内容の浸透・習得状況については、上席者による日常業務での確認に加え、系列銀行との情報連携によりモニタリングできる環境としております。また OJT の形式で適宜フォローアップを行っております。また、法令遵守意識向上のための確認テストを毎月実施しており、モニタリング及びフォローアップを適宜実施しております。

以上